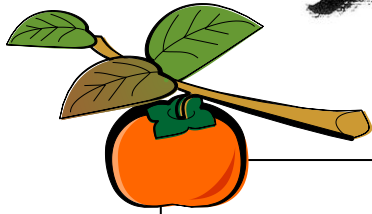


メールにいがた



第98号 2012年10月
新潟県点字図書館だより

今号の内容

1 お役立ち情報 3ページ

- 国立大学法人筑波技術大学の平成25年度「学生募集要項」(保健科学部・視覚障害系)のお知らせ
- 新潟駅のホーム及び列車の時刻が変更になります
- 新潟駅付近高架化工事に伴う列車の運休とバス代行運転のお知らせ
- 第11回新潟県障害者芸術文化祭「ふくらむアートふあっとにいがたフェスティバル」のご案内
- 盲導犬体験歩行のご案内
- 新潟県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会のご案内
- 前・日本盲人会連合(日盲連)会長 笹川吉彦氏講演会のご案内
- 新潟市日常生活用具給付制度の一部改正と「福祉のしおり音声版」について
- 新潟県視覚障害者福祉協会「ラジオスポット放送」のお知らせ

2 図書紹介コーナー 8ページ

- 図書選定委員 吉倉千恵さんの図書紹介
「七夜物語」 川上弘美著 朝日新聞出版

3 功労表彰受章者の紹介 9ページ

- 社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会理事長表彰

4 連載・新潟県点字図書館のあゆみ 9ページ

- 「私と新潟県点字図書館」第8回 山本安光

5 トーク広場 10ページ

- 利用者 三宅保子さん(柏崎市) 盲導犬ユーザーデビュー

6 8月・9月登録の新刊制作ボランティアの紹介 12ページ

- 点訳23名、音声訳28名、デイジー編集6名

7 図書館から 13 ページ

- 11月7日(水)午前中は、新潟市の火災予防訓練で電話対応等
ができない時間帯があります！
- ふれて楽しむ美術展(ふれ美)開催のおしらせ
- 第9回新潟県障害者技能競技大会・視覚障害者部門入賞者の紹介
- 五泉市で移動点字図書館を開催しました！
- 寄贈図書を紹介・貸出しなど
 - ★私たちの税金 平成24年度版(点字版、大活字版・貸出用)
 - ★視覚障害者のはじめてのパソコン教室(墨字版・貸出用)
 - ★ひとりのできる家庭料理(点字版、オーディオCD版・貸出用)
 - ★2012年春「ライオン製品情報」(白黒反転大活字版・貸出用)
 - ★加茂市観光パンフレット(点字版・差し上げます)
 - ★キャッシュカードや通帳等の盗難・紛失時の連絡先リーフレット(音声コード付き墨字版・差し上げます)
- デイジー図書を聞くための専用機器の操作説明を希望に応じて実施しています！
- 当館製作録音雑誌の完全デイジー化のお知らせ

8 Q&A 17 ページ

- Q：盲導犬を連れていても入店拒否をされない飲食店はありますか？新潟駅近辺のお店を教えてくださいののですが。
- Q：プレクストークからCDが出てこなくなってしまった！どうしたらいいですか？

9 開館及び電話受付時間並びに10～12月の休館日 18 ページ

巻末「日常生活支援機器情報コーナー」

情報掲載ご協力

株式会社ラビット 代表取締役 荒川明宏 様

- ※ 新刊案内(8～9月分)・別冊
点字50タイトル、音訳61タイトル

1 お役立ち情報

●国立大学法人筑波技術大学の平成 25 年度「学生募集要項」(保健科学部・視覚障害系)のお知らせ

国立大学法人筑波技術大学は、聴覚・視覚に障害のある人を対象とした大学で、前身の筑波技術短期大学で培った教育方法と職業技術に関する教育研究を基に、平成 17 年 10 月に開学、平成 18 年 4 月に第 1 期生を受入れ、幅広い教養と専門的、応用的能力を持つ専門職業人を社会に送り出しています。

この大学の平成 25 年度の学生募集要項(保健科学部・視覚障害系)が届きました。その概要は次のとおりです。詳しくは大学へお問い合わせください。

保健科学部募集人員：

保健学科 鍼灸学専攻 20 名

保健学科 理学療法学専攻 10 名

情報システム学科 10 名

入学資格：両眼の矯正視力が概ね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの若しくは将来点字又は文字の拡大等の特別な方法による教育を必要とすることとなると認められるもの。

選抜方法：一般入試として分離・分割方式(前期日程・後期日程)による個別学力検査等、及びアドミッション・オフィス入試を実施するとともに、推薦入試及び社会人入試を実施します。

出願期間：平成 25 年 1 月 28 日(月)～平成 25 年 2 月 6 日(水)

問合せ先：筑波技術大学 視覚障害系支援課教務係

〒 305-8521 茨城県つくば市春日 4-12-7

TEL 029-858-9507～9 FAX029-858-9517

URL <http://www.tsukuba-tech.ac.jp>

●新潟駅のホーム及び列車ダイヤが変更になります

11 月 4 日(日)から新潟駅ホームの 6 番線と 7 番線が廃止され、新たに 8 番線と 9 番線の利用が開始されます。その位置は、現在の 1 番線

ホームの延長線上で東側連絡通路下よりも新発田・新津側（東新潟駅・越後石山駅側）となります。また、これらの変更と併せ列車の発着ダイヤも変更になります。

●新潟駅付近高架化工事に伴う列車の運休とバス代行運転のお知らせ

日時：平成24年11月4日（日）始発～15時頃

内容：

- 1 信越本線、白新線、羽越本線、越後線は運転見合わせや列車の運休区間が設定されるとともに、ダイヤが変更されて運転されます。運転見合わせ区間は、バスでの代行輸送が行われます。
詳しくは、最寄りのJR駅にお尋ねください。
- 2 特急「いなほ」は、1・3・5・2・4・6・8号が全区間運休され、臨時快速列車が豊栄で折り返し運転されます。
- 3 特急「北越」は、1・3・2・4・6号が長岡駅～新潟駅間で区間運休され、臨時快速列車が長岡駅～越後石山駅間で運転されます。
- 4 特急以外の列車は、信越本線が越後石山駅で、白新線が東新潟駅で、越後線が白山駅でそれぞれ折り返し運転されますが、運休やダイヤの変更があります。
- 5 折り返し運転に伴う運転見合わせ区間などには、信越本線の新潟駅～亀田駅間で、白新線の新潟駅～東新潟駅間と新潟駅～豊栄駅間で、越後線の新潟駅～白山駅間でそれぞれバスが代行運転されます。

お問い合わせ先：

- 1 駅係員又は専用ダイヤル 050-2016-1609 へお尋ねください。
専用ダイヤルでの案内日程と案内時間
10月27日（土）～11月2日（金）午前9時～午後6時
11月3日（土）午前9時～11月4日（日）午前1時
11月4日（日）午前5時～午後6時
- 2 バスの代行運転のお知らせは、JR東日本新潟支社のホームページでもご覧いただけます。

●第11回新潟県障害者芸術文化祭「ふくらむアート ふあっとにいがたフェスティバル」のご案内

今年で11回目を迎える新潟県障害者芸術文化祭は、県内に在住して

いる障害者の皆さんが日ごろから取り組まれている芸術文化活動の発表の場として開催されています。

開催内容及び場所：

(1) 美術展

絵画・書道・写真・工芸の作品展示や短歌・俳句・自由詩・川柳の文芸作品を冊子にした文芸作品集が配布されます。

期日：平成24年11月17日（土）～24日（土）

時間：午前10時から午後5時まで、最終日は正午まで

(2) ステージ発表・表彰式

歌唱・器楽演奏・踊りの発表が行われ、毎年、個性豊かで心温まる数多くの発表で来場者を魅了しています。

期日：11月25日（日）

時間：正午から午後3時45分まで（予定）

(3) 会場（美術展及びステージ発表・表彰式とも同じ会場）

新潟ふれ愛プラザ 体育館

新潟市江南区亀田向陽1-9-1

問合せ先：新潟県障害者社会参加推進センター

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽 1-9-1 新潟ふれ愛プラザ内

TEL/FAX 025-383-3654

●盲導犬体験歩行のご案内

盲導犬に興味があり、将来盲導犬と共に歩いてみたい、現在一緒に生活しているユーザーの話を聞いてみたい、など、盲導犬に関することについて何でも聞いたり体験したりしてみませんか。

ご希望の方は、北海道盲導犬協会の訓練士の指導による体験歩行もできます。ご興味のある方は是非ご参加ください。ご連絡お待ちしております。

日時：平成24年11月17日（土） 正午～

場所：新潟駅周辺（予定、詳しくはお問い合わせください）

TEL：025-244-1045（藤井）

E-mail：nmaiko@rapid.ocn.ne.jp



●新潟県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会のご案内

新潟県S T Tサークルが視覚障害者のスポーツ啓発活動の一環として開催する大会です。試合をしながら参加者同士の交流と卓球愛好者を増やすことを目的に実施します。

手軽にだれでも楽しめる競技です。スポーツを楽しみながら交流を深めましょう。初めての方にも楽しんでいただけるよう、参加者の能力に応じてブロック別に競技をし、各ブロック総当たり戦で上位3名を表彰します。

日時：11月18日（日） 午前10時00分～午後3時30分

会場：新潟ふれ愛プラザ 会議室及び研修室

新潟市江南区亀田向陽1-9-1 TEL 025-381-8110

日程：

- ・ 9時40分～ 受付
- ・ 10時00分～10時30分 練習
- ・ 10時30分～15時00分 開会式及び競技
- ・ 15時00分～ 閉会式及び表彰式

参加資格：視覚障害者で卓球に興味のある方。弱視の方の参加もお待ちしております。

参加費：500円（弁当代を含む。当日、会場でお支払いください。）

申込み締切：11月5日（月）

申込み・問合せ先：新潟県視覚障害者卓球大会事務局

吉田 浩（TEL 025-522-3725）まで

留意事項等：

- ・ ラケットを持っていない方には事務局で用意します。
- ・ 当日は運動のできる服装で上履きも用意してください。
- ・ 保険には加入しません。

●前・日本盲人会連合（日盲連）会長 笹川吉彦氏講演会のご案内

長年に亘り、日盲連会長として視覚障害者福祉にご尽力された笹川吉彦氏の講演会が次のとおり開催されます。とても魅力のある方です！

皆さん是非ご参加くださるようご案内します。

日時：平成24年11月25日（日）午後1時30分～3時

会場：新潟市総合福祉会館・5階「大集会室」

演題：視覚障害者活動に関わって～私の歩んできた道～（仮題）

申込先：10月31日（水）までに新潟県視覚障害者福祉協会事務局
TEL 025-381-8130にご連絡ください。

●新潟市日常生活用具給付制度の一部改正と「福祉のしおり音声版」について

新潟市の日常生活用具給付制度の一部が本年4月に改正されました。

その内容は、日常生活用具の給付種類のうち次の表に記載の種類について、これまであった「学齢児以上」という資格要件がなくなったものです。学齢児以上の要件が無くなった用具の種類と対象者の部分のみを表でお知らせします。

詳しくは、新潟市障がい福祉課在宅福祉係（電話 025-226-1239）へお問い合わせください。

種類	対象者
視覚障がい者用ポータブルレコーダー（録音再生機・再生専用機）	視覚障がい2級以上の方
点字タイプライター	視覚障がい2級以上の方
視覚障がい者用拡大読書器	視覚障がい児者であって、本装置により文字等を読むことが可能になる方 全盲であっても、音声読み上げ機能のある場合は支給可
歩行時間延長信号機用小型送信機	視覚障がい2級以上の方
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	視覚障がい2級以上の方
ICタグレコーダー	視覚障がい2級以上の方

（新潟市発行「障がい者（児）福祉のしおり」より抜粋）

また、新潟市では、視覚障害者向けサービスガイドとして「福祉のしおり音声版」を提供しています。この度、今年度版の「福祉のしおり音声版」の寄贈を受けました。前述の本年4月に改正された日常生活用具の給付で、「学齢児以上」という資格要件がなくなった部分は反映されていませんが、デイジー版と一般CD版がありますので、貸出をご希望の方は当館までお申込みください。

●新潟県視覚障害者福祉協会「ラジオスポット放送」のお知らせ

社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会では、視覚障害者のための福祉事業等に関する情報を県民の皆さんに広く提供するため、BSN ラジオでラジオスポット放送を行っています。

時々の催事やホットな情報、耳寄りな情報を提供していますので、ご利用ください。10～12月の放送予定日時は次のとおりです。なお、生放送のため放送時間は目安時間です。

10月の放送予定

- ・17日（水）午後1時18分頃 点字図書館・デイジー図書再生機貸出しのお知らせ
- ・26日（金）午前9時43分頃 生活訓練のお知らせ
- ・29日（月）午後6時29分頃 更生相談のお知らせ

11月の放送予定

- ・2日（金）午前7時29分頃
- ・11日（日）午前10時20分頃
- ・14日（水）午後5時29分頃
- ・22日（木）午後2時44分頃
- ・27日（火）午前11時18分頃
- ・30日（金）午前9時43分頃

12月の放送予定

- ・3日（月）午前7時47分頃
- ・8日（土）午後1時59分頃
- ・11日（火）午後5時29分頃
- ・19日（水）午前9時39分頃
- ・25日（火）午前11時18分頃
- ・27日（木）午後1時54分頃

2 図書紹介コーナー

図書選定委員 吉倉千恵（よしくら ちえ）さん

「七夜物語」上・下 川上弘美著

小学校4年生のさよはお母さんと二人暮らし。本好きの少女だ。学校の図書室には、同じクラスの灰田（ほのだ）君も来ていてよく会う。彼も本が好きで、何でもよく知っている男の子だが、運動が苦手で、みんなから少しだけ遠巻きにされている。

ある日、さよは、学校の帰りに寄った区立図書館で古びた一冊の本に出会う。表紙の色は、深いあおみどり色で、扉には女の子と男の子の絵が描かれていた。『七夜物語』それが本の題名だった。表紙に描かれてい

る男の子と女の子が、ひよんなことから見知らぬ世界に紛れ込み冒険するという、たいそうわくわくするお話・・・のはずなのだが不思議なことに、本を閉じて棚に戻し図書館を出ると、その日読んだ本の中身を全く思い出すことができない。だが、再び図書館にやってきて棚から本を取り出したとたんに、前にどのページまで読んだのだったか、物語はどこまで進んだのか思い出すことができる・・・という何とも不思議な本だ。

本に出てくる男の子は灰田君、女の子はさよ。二人は不思議な夜の世界へと迷い込む。大ネズミのグリクレル、甘い眠り、若かりし父母、ミエル・・・七つの夜をくぐりぬける二人の冒険の行く先は？

今の子供社会は、「みんな違ってあたりまえ」がなかなか通用しにくいようですが、この本に登場する個性派の二人と一緒にあなたも冒険してみましよう。きっと、今までとは違った自分に出会えるかもしれませんよ！

点字製作中、デイジー（上）9時間21分、デイジー（下）製作中

3 功労表彰受賞者等の紹介

社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会理事長表彰

（第60回全国盲人福祉施設大会／6月22日和歌山市）

《奉仕活動者》

点訳 瀧澤和子（たきざわかずこ／新潟市秋葉区）

音声訳・デイジー編集

狩谷ケン子（かりやけんこ／五泉市）

4 連載・新潟県点字図書館のあゆみ

「私と新潟県点字図書館 第8回」(山本 安光)

昭和53（1978）年、それまで県内各地域で活動していた点訳、音声訳のボランティア団体が、点字図書館と連携して点訳・音声訳活動を行い、視覚障害者の福祉の更なる増進を図ろうと、「点訳・朗読奉仕会新潟県連合会」（現在「点訳・音声訳の会新潟県連合会」）を組織しました。連合会の事務局を点字図書館に置き、県内における点訳者・音声訳者の

養成と指導、加入団体指導者の資質向上のための研修参加支援、視覚障害者団体との交流事業などを点字図書館と連携しながら推進してきました。

参加団体は、点訳では新潟市点訳奉仕会に所属していた「新潟青年赤十字奉仕団点訳グループ」（昭和42年発足、現在「NPO 法人点訳グループ新潟点燈虫」）をはじめ、当時点字図書館に点訳、録音図書を含めていた点訳19団体、音声訳6団体の25団体ではじまりました。

その後、連合会の活動に伴って加入団体は増加し、現在は、点訳22団体、音声訳24団体、合わせて44団体（2団体が点訳、音声訳の合併団体）と成長しました。蔵書制作のみならず、図書館行事等にもご協力をいただいています。

連合会は二つの部会（点訳部会、音声訳部会）があり、それぞれが自主的な活動を行っています。県外から点訳や音声訳に関する専門技術をお持ちの講師をお迎えし100人規模の研修会を行ったり、県外で行われる講習会、東北・新潟・北海道ブロック点字図書館等連絡協議会が開催するボランティア研修会や、その他、全国規模で行われる指導員講習会等への会員の派遣など、県全体の技術向上に向けて活動しています。その活動があってこそ、新潟県点字図書館は全国へ向けた図書の登録や図書データの配信ができています。本当にボランティアの皆さんに感謝です。

今回は点訳・音声訳以外のボランティアについて紹介いたします。

5 トーク広場

このトーク広場は、利用者、ボランティアの皆さんたちのお便りやご意見を紹介するコーナーです。嬉しいこと、楽しいこと、感動したこと等々、みんなが元気になるようなお便り・ご意見をお待ちしています。メール、ファックス、郵便等でどんどんお寄せ下さい。

「盲導犬ユーザーデビュー」

柏崎市 三宅保子（みやけ やすこ）さん

去る6月18日から4週間、日本盲導犬協会仙台訓練センターにおい

て盲導犬との共同訓練を経て、7月16日に盲導犬ユーザーとしてデビューしました。

先号のトーク広場で新潟市の伊藤さんの「盲導犬体験歩行」のお便りを聞いて、「あっ」と思いこのお便りを書くことにしました。というのは、私のパートナーとなった犬は伊藤さんと歩いたフランだったからです。

フランは黒ラブの女の子で、体重は22キロと少し小さめです。変わった物を見たり音を聞いたりすると「エッ？なあに」といった感じで首をかたむけるのがチャームポイントです。いろいろな物に興味津津といった風で、私が何か目新しい物を持っていると「何？何？」といった感じで思いきりニオイをかぎにきます。

フランの歩きは、どちらかというとのんびりといった感じかな？「ゴーゴー」と指示するとタタタッと早足になるのですが、すぐにいつものノソノソといった歩き方に戻ってしまいます。私としてはもう少し早く歩いてほしいのですが。まだまだ散歩している他の犬に出会ったりすると反応してしまうので、反応しないようただいま特訓中です。この間海浜公園に散歩に行ったところ、甲羅の大きさが50センチほどのカメを散歩している人がいて、フランはそのカメに目が釘付けになってしまいました。歩かせようとしてもそのカメから目が離せないといった感じになっていました。フランのその驚きの様子はとてもおもしろかったです。「このノソノソ動いているものはいったい何？」と思ったことでしょう。

家にはフランの他に3匹のペットの犬がいます。いずれも小型犬です。フランが我が家にやってきた時にはみんなびびっていましたが、今ではお互いに気にならなくなったようです。フランも周りで他の犬たちがドタバタしていても我関せずといった感じで平気でおなかを出して寝ています。家の中でのフランはとても盲導犬とは思えないようなリラックスモードになります。

フランと歩きはじめてから1ヶ月半、家の周りの住宅街を主に散歩しているのですが、仙台の整備された道と違って、道の端を歩いていると舗装が崩れていたり、雑草がはえていたり、垣根の枝が張り出していたりなど環境の悪さを知りました。それまでは道の端の側溝に落ちるのが怖くて、車の来ない限り道の真ん中を歩いていたため気がつきませんでした。もうひとつ発見したことは、道の出入り口部分に側溝が横断して

おりその上にグレーチングのふたがしてある道が意外と多いということです。そういった道は「コーナー」と言ってもフランは探してくれず、道として認識していないみたいでグレーチングに沿ってまっすぐ行ってしまいます。そういった道を曲がりたい場合は自分でこの辺かなと思うあたりで犬を止め、その後「レフトゴー」で行かせないと曲がってくれないのがやっかいです。また、ふたがずっとしてある側溝の上を歩いていると、突然ピョンとジャンプするので何かと思うとグレーチングになっている所があり、そこを飛び越えたのでした。これは歩くリズムを乱されるのでちょっとイヤですね。

人は普通右側通行なのに盲導犬は基本的に左側通行になります。左側を歩いていると、散歩している他の犬に出くわしたり、集団登校している小学生の列の中に入ってしまったたり、暑い日は右側の日陰を歩きたいのに左側のひなたを歩かねばならなかったりとなかなか大変なところもあります。ハーネスを右手で持った時には右側通行というようにできたならばと思います。

ここ柏崎市では盲導犬は私が2頭目だそうです。なかなか街中で盲導犬を見かけることはないらしく、私がフランと歩いていると注目をあびている感じです。盲導犬がハーネスをつけて仕事をしている時は触ってはいけないということを知っている人が多く、「触りたいんだけど触ってはいけないんだよね。」と言われると、ハーネスをはずして触ってもらっています。お店とかでもまだ入店拒否されたところは無く、暖かく受け入れてもらっています。

暑い日が続き外を歩くのは大変ですが、涼しくなったならば思い切りいろいろな所にフランと出かけたなと思っています。まだまだ未熟者のふたり、でなくてひとりと1匹ですが、これから8年、ぴったり息の合ったパートナーとなって歩いていきたいと思いますので、どうぞ暖かく見守ってってください。

6 8月・9月登録の新刊製作ボランティアの紹介(五十音順 敬称略)

点訳

石田絢子/石田幸夫/荻野妙子/加村靖子/木伏美佐子/栗林禱躬子
小林保子/佐藤修子/佐野朝子/下妻逸子/周佐慶子/高橋千代子

田辺澄恵/田村真佐子/長井文子/永松允子/星野美保子/忠邦夫
堀水克也/松尾典子/皆川陽子/罇和也/弥田カウ

音声訳

遠藤直子/大滝陽子/大津千恵子/笠原健一/嘉藤百合/河村君子
窪田佐代子/桑原文代/小林喜代子/齋藤久美子/齋藤源一郎/齊藤正子
坂井信子/鈴木由美/相馬とし子/高野節子/高橋綾子/高橋憲子
富所純子/永井美智代/中村しのぶ/羽賀あみ/早川京子/布施みさ子
星野あつ子/山森玲子/横山喜代子/吉倉千恵

デイジー編集

狩谷ケン子/柴田弘子/中村一江/林章子/横山トシ子/吉岡廣子

7 図書館から

●11月7日（水）午前中は、新潟市の火災予防訓練で電話応対等が できない時間帯があります！

今年度の新潟市「秋の火災予防運動訓練」が、11月7日（水）の午前中（時間は当日判明）に新潟ふれ愛プラザで実施されます。この訓練実施に伴い、電話での応対等ができなくなるなど、ご迷惑をおかけする時間帯が生じますので、ご了承ください。

●ふれて楽しむ美術展（ふれ美）開催のおしらせ

絵画や美術・工芸作品を、手や指で直接さわって鑑賞してみませんか。今年度は第10回記念展となります。多数のご来場をお待ちしております。

日時：11月17日（土）～25日（日）会期中無休

10時～17時（最終日15時45分）

会場：新潟ふれ愛プラザ体育館（新潟市江南区亀田向陽1-9-1）

入場料：無料

内容：県内の美術作家、工芸作家の作品を直接手でふれて鑑賞することができます。出品予定作家は21名です。

作品説明会：11月17日（土）10時30分～12時に作家による作品説明会を実施します。（申込みは不要です）

この美術展は、新潟ふれ愛プラザ障害者週間イベントの一環として開催するものです。同一会場で「新潟県障害者芸術文化祭」「ふれ愛アー

トチャレンジ作品展」も開催されます。

●第9回新潟県障害者技能競技大会・視覚障害者部門入賞者の紹介

9月8日に新潟市総合福社会館で第9回新潟県障害者技能競技大会(アビリンピックにいがた 2012)が開催されました。大会のパソコン操作(視覚障害者部門)で優秀な成績を収められた入賞者の皆さんです。入賞おめでとうございます！

金賞：山崎正信(高速紙工業株式会社社員)

銀賞：大川竜士(新潟県立新潟盲学校生徒)

銅賞：五十嵐陽一(医療法人新潟臨港保健会 新潟臨港病院職員)

●五泉市で移動点字図書館を開催しました！

今年度の移動点字図書館は、9月9日(日)、五泉市福社会館を会場に開催いたしました。当館の利用案内、図書貸し出し、デイジー図書(CD図書)再生専用機の操作説明、点字体験、拡大読書器・情報機器等の展示、日常生活用具の注文受付、焼き菓子販売を行いました。今回のワークショップには多くの方が参加され、紙でオブジェを作る制作体験を行いました。型にはまる事なく、自由な発想で、自身がイメージした形をおのおの作り、気軽に楽しんでいただけたようです。

また午後から、視覚障害の方、点訳・音訳ボランティアさん、点字図書館職員による交流会を行いました。移動点字図書館・ワークショップの感想の他、借受けた図書や雑誌、地域の広報を利用したの具体的なお話を聞くことができました。点字の絵を触ってイメージするまで時間がかかる事、聞きにくい読みについて等、普段聞けない貴重な声を多くいただく事ができました。ボランティアさん・職員とも、今後の活動・運営に生かしていこうと、また気持ちを引き締めたところです。

今回の移動点字図書館を開催するにあたり、五泉市・阿賀野市のご協力により、各市内在住の視覚障害者手帳をお持ちの世帯宛てに開催案内を送付していただいた結果、初めての方も来られ新規で5名の方が当館の利用登録をされるとともに、全体で73名もの方々にご来場いただきました。

バタバタと1日が終わってしまった感が強く、もう少し準備をつめておくべき点も多々ありました。次回開催の反省点としていきたいと思い

ます。

当日はボランティアの皆様、講師先生・業者の方々、また五泉視障協様にご協力いただき、大変、盛会のうちに終える事ができました。ありがとうございました。

●寄贈図書を紹介・貸出しなど

下記図書の寄贈を受けましたので、貸出し等を希望される方は、当館へご連絡ください。

★私たちの税金 平成24年度版（点字版、大活字版・貸出用）

国税庁が毎年発行している点字広報誌です。税金の使われ方、税金の種類、申告と納税の仕組みなど、分かりやすく記載されています。

★視覚障害者のはじめてのパソコン教室（墨字版・貸出用）

公益財団法人新潟県保健衛生センター山田幸男副理事長の著作図書で、目の不自由な方のためのパソコン入門書です。なお、デジター版については、以前から当館蔵書として貸出しをしています。

★ひとりでできる家庭料理（点字版、オーディオCD版・貸出用）

料理研究家の松井純子さんが執筆した五感で調理するレシピ集を日本盲人社会福祉施設協議会が点字版とオーディオ版に作成しました。材料や調理法だけでなく、料理の由来や食材の説明もあるのが特徴です。夕食の献立に困ったときに見るだけでなく、食文化を知る読み物としても楽しく、知識を豊かにしてくれます。

★2012年春「ライオン製品情報」（白黒反転大活字版・貸出用）

ハミガキ、ハブラシ、解熱鎮痛剤、洗剤、キッチン関連品など、ライオンの2012年春の新製品及び改良品18品が掲載されています。

★加茂市観光パンフレット（点字版・差し上げます）

加茂市の観光案内パンフレット「北越の小京都 加茂」、「加茂美人の湯」、「街んなかマップ」の3種類を「加茂ともしびの会」が点字版として作製しました。

「加茂ともしびの会」では希望者に差し上げていますので、希望される方は当館へお申込みください。（当館から加茂ともしびの会へおつながります。）

★キャッシュカードや通帳等の盗難・紛失時の連絡先リーフレット（音声コード付き墨字版・差し上げます）

一般社団法人全国銀行協会から5部寄贈を受けました。全国銀行協会加盟のうちキャッシュカード、通帳等を発行している銀行の緊急時連絡先が記入されています。このリーフレットをご希望の方に先着順で差し上げます。

●デージー図書を聞くための専用機器の操作説明を希望に応じて実施しています！

デジタル録音方式によるデージー図書は、音がクリアで、聞きたいところにシオリの印を幾つでも付けられ、聞きたい所へ即座に移動できるなど、とても聞きやすく使い勝手のよい図書です。

このデージー図書を聞くためには、プレクストーク等の音声再生機が必要です。当館では、プレクストークを初めて使われる方、もっと様々な使い方や高度な使い方をマスターしたい方を対象に、ご要望に応じて自宅や最寄りの社協及び公的な施設に職員を派遣し、機器の使用説明会を開催しています。

プレクストーク等の音声再生機の使い方を知りたい、もっと上手に使いたいと思っている方は、ご遠慮なく当館にお申込みください。

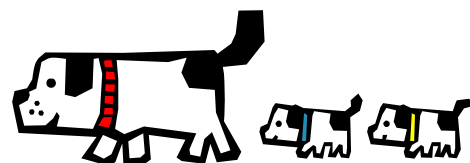
●当館製作録音雑誌の完全デージー化のお知らせ

当館で製作している録音雑誌、週刊トピックス悠久、文芸えちご、ラジオ深夜便の3誌は現在、デージー版とテープ版の貸出を行っています。カセットテープコピー機が製造・販売中止になり、テープの需要も少なくなってきた状況に鑑み、平成25年4月からデージー版のみの扱いとさせていただくことになりました。それにより平成25年3月末をもって、これらの雑誌のテープ版を中止させていただきますので、ご了承ください。

現在、テープ版でご利用いただいている方は、お早めにプレクストーク等のデージー図書再生機を備えていただきますようお願いいたします。視覚障害の等級が1、2級の方は、日常生活用具として市町村へ申請することができますので、お住まい地域の福祉担当課へお問い合わせください。

なお、障害等級が1、2級以外で日常生活用具支給対象外の方に対しては、当館で再生専用機の優先貸出を行っています。貸出しを希望され

る場合は、当館へお申し出ください。



8 Q&A

利用者の皆様から寄せられたご質問に誌上でお答えいたします。

Q：盲導犬を連れていても入店拒否をされない飲食店はありますか？新潟駅近辺のお店を教えてください。

A：盲導犬を連れていて、これまでに入店拒否をされたことがおありでしたか？新潟県では、本年9月現在 32 頭の盲導犬と4頭の聴導犬が実働しています。全国では、1,000 頭を超える盲導犬が活躍中だとか。補助犬の受け入れをスムーズに行い、身体障害者の社会進出と自立を促進することを目的とした「身体障害者補助犬法」では、公共施設や一般の施設、乗り物などで盲導犬、聴導犬、介助犬などの補助犬を身体障害者が同伴することを拒んではならないとしています。入店拒否という事例があることは非常に残念なことです。補助犬であることを説明してもなお入店拒否を受けた時などには、都道府県や政令市に補助犬に関する苦情や相談の申し出をすることもできます。また、新潟県盲導犬ユーザーの会でも相談を受け付けています。

一方で、「Welcome（ウェルカム）！ほじょ犬」という青い文字と犬の顔をかたどったステッカーや、青緑色の補助犬同伴可ステッカーを、入り口に貼ってあるお店や、ホームページで補助犬歓迎とうたっているお店もあります。（このご質問をくださった方には、入店を歓迎してくれると思われるお店をご紹介します）

Q：プレクストークから CD が出てこなくなりました！どうしたらいいですか？

A：PTR2 や PTN2 には CD の強制排出手順があり、その操作をすることで CD を取り出すことができます。強制排出手順は機種により異なりますので、機器の操作でお困りの際は、当館のデイジーサポート係までお気軽にお電話ください。

CD の差し込み口に物を差し込んだり、機器を分解したりすることは、機器の故障につながることもあります。たいへん危険ですので行わないでください。強制排出手順でも取り出しができない場合には、メーカーに修理依頼品として送っていただく場合もありますのでご了承ください。

9 開館時間及び電話受付時間並びに 10～12月の休館日

開館時間及び電話受付時間：午前 9 時～午後 5 時

・ 10月の定例休館日（月曜日と祝日の翌日）

1日（月）・8日（月）・9日（火）・15日（月）・22日（月）・
29日（月）

・ 11月の定例休館日（月曜日と祝日の翌日）

5日（月）・6日（火）・12日（月）・19日（月）・26日（月）・
27日（火）

・ 12月の定例休館日（月曜日と祝日の翌日、年末年始）

3日（月）・10日（月）・17日（月）・24日（月）・25日（火）・
29日（土）・30日（日）31日（月）

~~~~~  
**【編集後記：秋を楽しむ】**

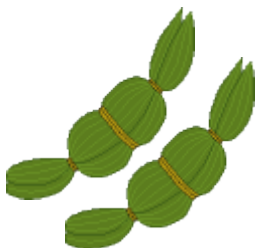
長い暑さもようやく一段落して、本格的な秋を迎えようとしています。

食欲の秋、スポーツの秋、行楽の秋、芸術の秋、そして読書の秋。秋という季節は、すべての人に様々なかたちで、楽しみや喜びをもたらします。

私は、新潟に来てまだ日が浅いので、今年の秋は美味しい新潟の食べ物でいろいろ味わってみるつもりです。図書館に勤務し始めた頃、最初に味わった新潟名物は、笹団子だったのですが、緑鮮やかな笹に包まれた団子の美味しさに、すっかり新潟の「食」のとりこになってしまいました。

これから過ごされる皆様の秋も、どうか素敵な季節でありますように。（吹越）

~~~~~



メールにいがた新潟県点字図書館だより
(第98号 2012年10月)
発行
新潟県点字図書館

〒950-0121
新潟市江南区亀田向陽 1-9-1
新潟ふれ愛プラザ
TEL 025-381-8111
FAX 025-381-8115
E-mail tosyo@ngt-shikaku.jp
URL <http://ngt-shikaku.jp/>

日常生活支援機器情報コーナー(no.2)

今回は皆さんの生活の中に欠かせない存在となっている、携帯電話についてお話ししたいと思います。

2012年7月の携帯電話の出荷台数の比率は、ボタン付きの電話機が35パーセント、スマートフォンが65パーセントとのことです。つまり、販売される携帯電話の3分の2がスマートフォンとのことです。そこで今話題の「スマートフォン」をテーマに取り上げたいと思います。

視覚障害者が利用できるスマートフォンには大きく2種類あります。ソフトバンクとauが取り扱っている「iPhone」とAndroid搭載モデルの2種類です。

iPhoneは9月から新しくなり、漢字の詳細読みも行われかなりよくできています。同じタッチパネルでも微妙な反応などはiPhoneはかなりよくできています。Android携帯では電車の中で入力するとミスタッチをしてしまいますが、iPhoneではこの私でもかなり正確に文字入力が可能です。そして、アクセシビリティの中にある「ボイスオーバー」という機能をオンにするだけで簡単に読み上げ可能です。音声ソフトのインストールなどは不要です。私が少し満足していない点は、日本語の中に英語と数字が混在した時の読みが非常に聞きにくく、何を読み上げているのかわからないことが多々あることです。

Android携帯電話は各会社で取り扱っています。注意するポイントは「Android4.0」以上の機種を購入する必要があることです。そして、そこに「Talkback」という無料ソフトをインストールし、更に「ドキュメントトーカ for Android (990円)」、無料の「ドキュメントトーカ IME」を入れれば音で利用できるスマートフォンの完成です。

auでは「IS15SH」というボタンの付いたスマートフォンを販売しています。この機種は視覚障害者にはなかなかよいと思います。ラビットでは10月からAndroidスマートフォンの電話サポートを行いますので、困った時はご利用ください。

記事掲載ご協力

株式会社ラビット代表取締役 荒川明宏 様
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-7
スカイパレス 401
TEL 03-5292-5644 FAX 03-5292-5645
E-mail : eigyo@rabbit-tokyo.co.jp